

# 地域で取り組む グリーフケア・遺族ケア

## 令和6年 5月26日(日)

13:00-16:30(12:30開場)

**会場** 久留米大学 筑水会館イベントホール  
福岡県久留米市旭町67

**参加費** 1,000円(学生無料)

**定員** 150名 下記QRコードよりお申し込みください

死別の哀しみと  
共に生きるために  
大切なこと

### プログラム

13:00  
~  
13:20

#### グリーフケアCafe 活動報告

古賀 千鶴 先生 久留米グリーフケアCafeやすらぎの部屋(代表)  
鬼塚 友美子 先生 福岡グリーフケアCafe結生(代表)

司会 **安川 秀雄** 先生  
久留米大学保健管理センター(教授)

13:20  
~  
14:00

#### グリーフケアCafe 参加者の語り

林田 一良 様 池田 健児 様

14:00  
~  
14:20

#### ヨガで 心身を癒やす時間

天野 紗和 先生 Sawa's Style(ヨガコーチ)

\*\*\*\*\* 休憩(10分) \*\*\*\*\*

14:30  
~  
16:30

#### 特別講演 グリーフケア 次の一歩を見つけるために



**栗原 幸江** 先生  
上智大学グリーフケア研究所(特任教授)  
認定NPO法人マギーズ東京  
(理事・心理療法士)  
がん・感染症センター  
都立駒込病院緩和ケア科(心理士)

#### 講師プロフィール

米国の大学病院や終末期がん専門病院での勤務等を通じて緩和/エンドオブライフケア、心理臨床、家族療法、ホリスティックアプローチ等の実践を積み、2002年の静岡がんセンター開設を機に帰国。2012年からがん・感染症センター都立駒込病院、2016年からは認定NPO法人マギーズ東京兼任となり2020年から同団体理事。2022年から上智大学グリーフケア研究所特任教授のお役目が増え、3足のわらじで臨床と教育に携わり。

死別のつらさのただなかにあるとき、「世界が大きく変わってしまった」ように感じられるかもしれません。悲しみや怒り、後悔や自分を責める気持ちなどが荒波のようにやってくる時、「これからどうしたらいいのか」「(その人のいない世界で)どう生きたいのか」と自分の進む方向も見えなくなってしまうようなとき、グリーフケアは暗闇の中を照らす灯のように明かりや温かさを届けるのではないかと思います。グリーフワーク(喪の作業)のプロセスで「支

えられる側」を経験した方々が、今度は「支える側」となる、そうした双方向のケアが生まれるコミュニティの存在はこれからさらに求められると思います。

つらさや試練、悲嘆を語る「場」で、それを「語る勇気」を足掛かりにして「つらさを言葉にする」とき、その経験の乗った言葉が今度は誰かの支えになる。そうしたグリーフケアの恵みについて、ご参加のみなさんと分かち合えたら幸いです。



#### お申込み・お問合せ

070-1970-1953

Webで申込みができない方はお電話でお申し込みください。



#### 地図情報

会場は旭町キャンパスマップの筑水会館③、  
駐車場は総合診療棟⑥の南側の立体駐車場  
かグラウンド南側の駐車場(数に限りあり)

#### 会場で待ってます♡



セラピー犬  
ロゼ・ティアラ